

音羽蒲郡
有料道路

14年度中にも無料化へ

住宅用太陽光発電の普及に力

県議会一般質問

6月定例県議会は30日日本会議を再開。前日の代表質問に続いて一般質問の第1日目が行われ、飛田常年(自民・蒲郡市)▽渡会克明(公明・豊橋市)ら7氏が質問に立った。

渡会氏は、東日本大震災を踏まえた地球温暖化対策の取組、県民の命を守る食品衛生行政、東三河地域における地震に強い道路づく



渡会克明氏

りについて質問した。西川洋二環境部長は東日本大震災を踏まえたエネルギー対策として太陽光発電の有用性を強調。「住宅用として県内54市町村のうち28市町村と協調して整備する。今年度は昨年度を件数で1000件、金額で2000万円以上を上回る補正予算を計上した」と答弁した。また、大村知事も「太陽光は再生可能なエネルギー。県は全国でも有数の日照時間の長い県。住宅用発電をさらに普及させるとともに、全国に先駆けてメガソーラーとかビルなどにも活用したい」と答えた。

(後藤康之)